

入札執行回数	
落札業者名（契約業者名）	
契約価格（税抜）	
契約年月日	
完了予定年月日	
備 考	年 月 日〇〇〇号 交付決定

- 1 「入札予定価格」欄は、未公表の場合は未公表と記入する。不落札随意契約の場合は必ず記入する。
 - 2 「入札参加業者名及び入札価格」欄は、入札に参加した業者名を全て記入し、入札最終回の価格を記入する（途中棄権した業者がある場合は、当該業者の価格は空欄とする。）
 - 3 不落札随意契約の場合は、「入札執行回数」欄は入札執行回数及び不落札随意契約である旨を、また、「落札業者名」欄は契約業者名を記入する。
 - 4 「業者選定方法」が随意契約の場合は、「入札執行年月日」欄から「入札執行回数」欄まで記入不要とし、「落札業者名」欄に契約業者名を記入する。
 - 5 交付決定前に着工した場合、「備考」欄は交付決定前着工届の文書番号等を記入する。
 - 6 本報告に際しては、工程表を添付すること。
 - 7 事業が複数の契約からなる場合は、契約ごとに上表を整理すること。
- ※１：本別紙本体の第２の１（１）の事業の場合、農林水産省農産局長宛とする。
- ※２：本別紙本体の第２の１の事業名を記入。

別添 3（Ⅰの第 3 の 1、Ⅱの第 3 の 1、Ⅲ－Ⅰ、Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ、Ⅲ－Ⅱ－Ⅱ、Ⅲ－Ⅲの第 3 の 1（1）関係）

番 号
年 月 日

〇〇農政局長 殿
〔 北海道にあつては、北海道農政事務所長
沖縄県にあつては、内閣府沖縄総合事務局長
農林水産省農産局長^{※1} 殿

事業実施主体名
所 在 地
代 表 者 氏 名

持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進（〇〇〇〇〇※2）事業実施状況報告書（令和 年度）

令和 年度において、持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進（〇〇〇〇〇※2）を実施したので、持続的生産強化対策事業推進費補助金等交付等要綱（令和 4 年 4 月 1 日付け 3 農産第 3174 号農林水産事務次官依命通知）第 29 に基づき、関係書類^{※3※4}を添えて報告する。

※1：本別紙本体の第 2 の 1（1）の事業の場合、農林水産省農産局長宛とする。

※2：本別紙本体の第 2 の 1 の対象事業名を記載すること。

※3：関係書類として、本別紙本体の第 2 の 1（1）の事業については別添 3－1、（2）の事業については別添 3－2 を添付すること。また、本別紙のⅡの第 1 の 1（1）イ（ク）a に定める事業については別添 19 を、本別紙のⅡの第 1 の 1（1）イ（ケ）に定める事業については別添 40 を添付すること。

※4：関係書類として、本別紙のⅢのⅢ－Ⅰの事業の場合は別添 3－3、本別紙のⅢのⅢ－Ⅱの事業の場合は別添 1－4 又は別添 1－5 を添付すること。また、事業実施目標年度の翌年度からリース契約終了年度の翌年度まで報告する場合は、別添 3－4 を添付すること。なお、Ⅲ－Ⅲの事業の場合は別添 3－5 を添付する。

持続的生産強化対策事業

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
事業実施状況報告書

事業実施年度：令和 年度

目標年度：令和 年度

実施状況報告年度：令和 年度

事業実施主体名：

都道府県名・市町村名：

対象作物名：

第1 事業概要

1 事業内容及び成果目標の達成状況

達成すべき成果目標	目標値（ 年度）	取組結果及び達成状況	備 考

注：「達成すべき成果目標」及び「目標値」の欄は、事業実施計画書から転記すること。

第2 事業実施結果の概要（非実施の取組の欄は、削除すること。）

（1）検討会の開催

ア 検討会の構成

検討会の名称	氏 名	所属・役職名	備 考

注：適宜、行を追加して記入すること。

イ 検討会の開催

開催時期	開催場所	参集範囲	検討内容	備考
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				

注1：「参集範囲」の欄は、検討会の構成員以外の者が参加する場合は、その者の所属・役職名、氏名を併せて記入すること。

2：開催する検討会ごとに記入すること。

3：適宜、行を追加して記入すること。

(2) 事前相談窓口の設置

ア 相談窓口の運営体制

相談窓口名	氏 名	所属・役職名	備考

注：対象作物が複数の場合は、備考欄に対象となる作物名を記入すること。

イ 相談窓口の実施内容

相談項目	課題内容	支援内容及び結果	備考

(3) 地域相談会等の実施

ア 地域相談会等の実施内容

名 称	相談会等の具体的な実施内容	備 考

注1：「名称」の欄は、仮称でも構わない。

2：開催する相談会等ごとに記入すること。

イ 地域相談会等の開催

開催時期	開催場所	参集範囲	相談会の具体的な内容及び結果	備 考
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				

注：開催する地域相談会等ごとに記入すること。

(4) 栽培技術研修会の実施

ア 研修の概要（研修課題、講師、対象者、定員など）

--

注：開催する研修会ごとに記入すること。

イ 栽培技術研修会の開催

開催時期	開催場所	参集範囲	具体的な内容及び結果	備 考
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				

注：開催する研修会等ごとに記入すること。

(5) 産地動向・栽培技術等調査・分析等

ア 調査・分析等の内容

実施時期	調査名	実施者	実施内容	備 考
年 月				
年 月				
年 月				

注：適宜、行を追加して記入すること。

イ 調査・分析等の結果の概要

--

注：実施した調査ごとに記入するとともに、調査結果を添付すること。

(6) 需要・消費動向等調査・検討の実施

ア 需要・消費動向等調査の実施内容

調査時期	調査名	実施者	調査内容	備考
年 月 ～ 月				

注：実施した調査ごとに記入するとともに、調査結果を添付すること。

イ 需要・消費動向等調査・検討の結果の概要

--

注：実施した調査ごとに記入するとともに、調査結果を添付すること。

(7) 課題解決実証の実施

ア 新たな作物又は品種の現地適応性試験の実施内容

実施時期	実施場所	作物名又は品目名	ほ場面積(a)	管理主体	試験内容及び結果	備 考
年 月						

注：実施した場所ごとに記入するとともに、試験結果を添付すること。なお、管理主体の欄は試験を管理した者を記入すること。

イ 栽培技術・加工技術の確立

(ア) 栽培技術・加工技術の試験内容

実施時期	実施者	作物名又は品目名	試験内容及び結果	備考
年 月				

注：評価結果を添付すること。なお、作成者の欄は試作品を作成した者を記入すること。

(イ) 加工技術の試験に必要な機械・機器の整備内容

整備する機械・機器の名称・内容	整備する機械・機器の使用方法	備 考

注：「整備する機械・機器の使用方法」の欄は、栽培技術・加工技術の確立に必要な機械・機器の具体的な使用方法等について記入すること。

ウ 新商品の開発等

(ア) 試作品の作製

実施時期 年 月	作製者	試作内容及び方法	備 考

注：試作品ごとに記入すること、「作製者」の欄は、試作品を作製する者を記入すること。

(イ) 新商品の商品性評価

開催時期 年 月	開催場所	新商品の主原材料名	試作品の内容及び結果	備考

注：試作品ごとに記入するとともに、評価結果を添付すること。なお、「評価内容及び結果」の欄は、実施方法、調査対象者及び員数、並びに主な評価項目等について記入すること。

エ 農業機械の開発・改良

(ア) 農業機械の開発・改良の内容

実施時期 年 月	機械の種類・形式	実施者	活用内容及び結果	保管・設置場所	備考

注1：「実施者」の欄には、農業機械の改良を行う機関（又は担当者等）を記入すること。なお、改良を一体的に行う農機具メーカー名及びその部署、支店名（又は担当者名等）も記入すること。

2：「備考」の欄には、事業実施主体のうち事業の管理に当たる責任者を記入すること。

オ 農業機械等のリース

(ア) リース内容

機械名	仕様	台数	用途	金額	主として 使用した者	設置場所	リース時期

注1：機械ごとに記入すること。

注2：「金額」の欄には、機械のリース料相当額を記入すること。また、リース契約内容のわかる資料を添付すること。

(イ) リースを行う農業機械の決定の根拠

機械の種類・ 形式	リース物件価格 (千円)	リースを行う農業機械の選定理由及び規模決定の根拠	備考

注1：「リース物件価格（千円）」の欄には、リースする農業機械の販売業者により設定されている小売希望価格（設定されていない場合は一般的な実勢価格（税抜価格））を記入すること。

2：「リースを行う農業機械の選定理由及び規模決定の根拠」の欄の「規模決定の根拠」では農業機械の能力を決定（導入する機械の能力、台数、単価等）した計算過程をその根拠となる機械の能力等の具体的な数値を用いて記入すること。

3：リースする農業機械の価格が400万円以上の場合は、その機械をリースする理由を「リースする機械の選定理由及び規模決定の根拠」の欄にあわせて記入すること。”

(ウ) リース事業者選定方法の結果

入札方法（いずれかに○をする）	理由	備考
一般競争入札 ・ 指名競争入札		

注：「指名業者選定の考え方」の欄は、一般競争入札以外の選定方法で業者を選定した場合、記入すること。

(8) 需要拡大に資する取組の実施

(ア) 需要拡大に資する取組の実施内容

実施時期	実施者	実施内容及び結果	備 考
年 月			

(9) 人材登録等の実施

(ア) 卓越技能人材選考会の構成

選考会名	所属・役職名	氏名	備 考

注：所属・役職名及び氏名欄は、会員ごとに記入すること。

(イ) 選考会の開催

開催時期	開催場所	参集範囲	選考方法及び結果	備 考
年 月				

注：開催する選考会ごとに記入するとともに、配布資料を添付すること。

(ウ) 卓越技能人材に関する周知

実施時期	開催場所	周知内容及び方法	備 考
年 月			

(エ) 卓越技能人材公開意見交換会の開催

開催時期	開催場所	参加人数及び主な参加者	意見交換会の内容	備 考
年 月				

注：開催した意見交換会ごとに記入するとともに、配布資料を添付すること。

(オ) 技術アドバイザーの選考・登録

選考時期	選考方法及び結果	備 考
年 月		

(カ) 技術アドバイザーの派遣の実施

派遣先	派遣時期 (回数)	派遣等の内容及び結果	備 考
	年 月 ～ 月 (回)		

(10) 情報発信ツールの構築

ア 情報発信ツールの内容

実施時期	情報発信内容	備 考
年 月		

注：ポータルサイトを製作する場合には、サイトの設置予定場所や周知方法等を備考欄に記入すること。

(11) 技術拠点農場の設置

技術拠点農場の内容

(技術体系名) 技術拠点農場					
【所 在 地】		【田・畑の区分】	【面積 (a)】	【栽培期間 (年)】	【土地利用体系】
		田 ・ 畑			
		田 ・ 畑			
		田 ・ 畑			
			計		
【対象作物】	【技術体系に組み入れる新たな省力化・安定化技術等】				
【技術拠点農場設置の目的、技術体系の考え方、実施内容】					

--

注1：技術拠点農場ごとに作成すること

第3 取組の総合評価

--

持続的生産強化対策事業

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進
事業実施状況報告書

事業実施年度：令和 年度

目標年度：令和 年度

実施状況報告年度：令和 年度

事業実施主体名：

都道府県名・市町村名：

対象作物名：

第1 成果目標

ア 達成すべき成果目標

事業内容	達成すべき 成果目標	成果目標				備考
		現状値	実績値①	目標値②	達成率 (①/②)	
		(○ 年)	(○ 年)	(○ 年)	%	

注1：複数作物に係る取組を行っている場合には、「事業内容」の欄に対象作物名を記載すること。

2：「達成すべき成果目標」及び「目標値」の欄は、事業実施計画書から転記すること。

イ 達成すべき成果目標

事業内容	達成すべき 成果目標	成果目標				備考
		現状値	実績値①	目標値②	達成率 (①/②)	
		(○ 年)	(○ 年)	(○ 年)	%	

注1：複数作物に係る取組を行っている場合には、「事業内容」の欄に対象作物名を記載すること。

2：「達成すべき成果目標」及び「目標値」の欄については、事業実施計画書から転記すること。

第2 事業実施結果の概要（非実施の取組の欄は、削除すること。）

1 事業全体の実施概要

事業の実施時期	取組の内容
(年度) 月 月	

注：適宜、行を追加し、記入すること。

2 生産体制の強化に係る取組結果

ア 検討会の開催

(ア) 検討会の構成

検討会の名称	氏 名	所属・役職名	備 考

注：適宜、行を追加して記入すること。

(イ) 検討会の開催

開催時期	開催場所	参集範囲	検討内容	備考
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				

注1：「参集範囲」の欄は、検討会の構成員以外の者が参加する場合は、その者の所属・役職名、氏名を併せて記入すること。

2：開催する検討会ごとに記入すること。

3：適宜、行を追加して記入すること。

イ 栽培実証ほの設置

(ア) 栽培実証ほの内容

作物名	設置場所	ほ場面積 (a)	管理主体名	受益農業従事 者数(戸)	栽培実証ほの内容	備 考

注1：薬用作物を対象とする場合は、「備考」の欄に生薬名、栽培年数（植付から収穫までに要する年数）を記入すること。

- 2：「管理主体名」の欄は、実証ほに関する責任者名（又は管理する機関名）を記入すること。
- 3：「設置場所」の欄は、実証ほを設置する市町村名・地域名を、特定の機関の敷地内に設置する場合には機関名を記入すること。
- 4：1作物当たりの実証ほの面積が5アール未満の場合は、5アールに満たない理由を備考欄にあわせて記入すること。
- 5：適宜、行を追加して記入すること。

（イ）栽培実証結果及び栽培技術の普及結果

--

注：栽培実証ほの設置の結果とその評価、栽培技術の普及状況・結果等について記入すること。

ウ 種苗等増殖実証ほの設置等

（ア）種苗等増殖実証ほの内容

作物名	設置場所	ほ場面積 (a)	管理主体	受益農業従事 者数 (戸)	栽培実証ほの内容	備 考

注1：薬用作物を対象とする場合は、備考欄に生薬名、栽培年数（植付から収穫までに要する年数）を記入すること。

- 2：管理主体名は、実証ほに関する責任者名（又は管理する機関名）を記入すること。
- 3：「設置場所」の欄は、実証ほを設置する市町村名・地域名を、特定の機関の敷地内に設置する場合には機関名を記入すること。
- 4：1作物当たりの実証ほの面積が5アール未満の場合は、5アールに満たない理由を備考欄にあわせて記入すること。
- 5：適宜、行を追加して記入すること。

（イ）栽培実証結果及び栽培技術の普及結果

--

注：栽培実証ほの設置の結果とその評価、栽培技術の普及状況・結果等について記入すること。

エ 新しい栽培技術等の実証導入
(ア) 実証導入の内容及び結果

--

(イ) 農業機械のリース内容（農業機械のリースを行った場合に記入）

機械等名	仕様	台数	利用者	使用状況	備考

注：対象機械が複数ある場合には、適宜、行を追加して機械ごとに記入すること。

オ 関連設備・農業機械の開発・改良

関連設備・農業機械の 種類	実施者	改良結果	農業機械の活用結果	備考

注1：「実施者」の欄は、農業機械の改良を行った機関（又は担当者等）を記入すること。なお、改良を一体的に行った農機具メーカー名及びその部署、支店名（又は担当者名等）も記入すること。

2：「備考」の欄には、事業実施主体のうち事業の管理に当たる責任者を記入すること。

カ 栽培マニュアルの作成

マニュアルの名称	作成部数	マニュアル内容	配布先及び活用結果	備考
	部			

キ 課題等解決のための調査・分析
(ア) 分析の内容

実施時期	実施項目（課題・調査対象等）	調査内容	備 考
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

注：適宜、行を追加して記入すること。

(イ) 分析結果の概要

注：分析結果の概要及びその評価・活用等について記入すること。

ク マッチングの推進

開催時期	開催場所	参集範囲	実施内容及び結果	備 考
年 月				
年 月				
年 月				

注１：「参集範囲」の欄は、検討会の構成員以外の者が参加する場合には、その者の所属機関名、氏名も併せて記入すること。

２：適宜、行を追加して記入すること。

ケ 茶の改植等、薬用作物の新植及び永年性工芸作物の改植等の促進（本別紙のⅡの第４を参照）
(ア) 取組結果の概要

注１：本別紙のⅡの第１の１イ（ク）ａ茶の改植等への支援を実施した場合は、別添１９「実施状況一覧表」等を添付すること。

２：本別紙のⅡの第１の１イ（ク）ｂ薬用作物の新植に対する支援を実施した場合は、薬用作物名及び対象作物の生育状況の概要を記入すること。

３：本別紙のⅡの第１の１イ（ク）ｃ永年性工芸作物に対する支援を実施した場合は、永年性工芸作物名及び対象作物の生育状況の概要を記入すること。

※本別紙のⅡの第1の1イ（ク）bの「薬用作物の新植に対する支援」を実施した場合のみ、以下を記入

生産者グループ名	薬用作物名	栽培年数	支援を受けた 最初の年度	実施面積（㎡）	実施状況結果	備考
		年	〇〇 年度			

注1：「栽培年数」の欄は、収穫年を除く栽培年数（未収益期間）を記入すること。

2：「支援を受けた最初の年度」の欄は、本事業で同一の薬用作物について過去に未収益期間の補助を受けた場合のみ記入すること。

3：適宜、行を追加して記載すること。

コ 農業機械等リース支援の実施概要（本別紙のⅡの第4を参照）

--

注1：農業機械等リース支援の取組概要及び結果を簡潔に記載すること。

2：別添31「実施状況一覧表」及びリース契約が継続していることが分かる資料等を添付すること。

サ 人材確保策の検討の実施概要

（ア）外部人材等の活用・連携の内容

外部人材・組織名	外部人材・組織の選定理由	活用・連携内容	備 考

注：適宜、行を追加して記入すること。

3 需要の創出に係る取組結果

ア 消費者・実需者ニーズ等の把握

(ア) ニーズの把握の内容

実施時期	実施項目（課題・対象等）	実施内容	備 考
年 月			
年 月			
年 月			

注：適宜、行を追加して記入すること。

(イ) ニーズの把握結果の概要

--

イ 実需者等と連携した商品開発

(ア) 開発に必要な市場調査の実施

調査名	実施者	実施項目（課題・対象等）	実施内容及び結果	備 考

注：実施する調査ごとに記入すること。

(イ) 商品開発に必要な試作、包装の改良

試作・包装の改良の時期	実施者	試作、包装の改良内容及び結果	備 考
年 月			

注：実施した試作、包装の改良ごとに記入すること。

(ウ) 試作品のPRのためのパンフレット等の作成

作成時期	作成部数	内容	配布先及び活用結果	備 考
年 月	部			

(エ) 試食会、商談会等の開催

開催時期	試食会、商談会等の名称	開催場所	開催内容及び結果	備 考
年 月				

注：開催した試食会、商談会等ごとに記入すること。

ウ 製造・加工技術の確立

(ア) 製造・加工技術の実証の内容

対象製品の名称・内容	実証結果	備 考

注：「対象製品の名称・内容」の欄は、製造・加工技術の実証の対象となる製品の名称や内容について、記入すること。

(イ) 製造・加工技術の確立に必要な機械等の整備内容

整備した機械等の名称・内容	技術確立状況	備 考

(ウ) 製造・加工機械、品質管理機器等のリース内容（製造・加工機械、品質管理機器等のリースを行った場合に記入）

機械等名	仕様	台数	利用者	使用状況	備考

注：対象機械が複数ある場合には、適宜、行を追加して機械ごとに記入すること。

エ 消費者に向けたコト体験の展開

(ア) 具体的な実施内容

実施内容	具体的方法

オ 消費者等への理解促進・情報発信

実施時期・作成時期	イベント・パンフレット・情報発信ツール等の名称	取組内容及び結果	備 考
年 月			

注：実施したイベント、作成したパンフレット及び情報発信ツールごとに記入すること。

(イ) 必要な農業機械等をリースする場合の内容（必要な農業機械等のリースを行う場合に記入）

機械等名	仕様	台 数	用 途	主として使用する者	保管・設置場所	備 考

注１：対象機械等が複数ある場合には、適宜、行を追加して機械毎に記入すること。

２：「３ 農業機械、製造・加工機械、品質管理機器等をリースする場合の決定根拠、事業者の選定方法及びリース助成額について」を記入すること

３：リース導入する農業用機械や機器等に関する資料を添付すること。

第3 取組の総合評価

持続的生産強化対策事業のうち
茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進のうち
甘味資源作物等支援事業
(国内産いもでん粉高品質化推進事業)
事業実施状況報告書

事業実施年度：

事業実施主体名：

第1 事業計画総括表

事業名	地区数	事業費	助成金申請額	備考
甘味資源作物等支援事業 (国内産いもでん粉高品質化推進事業) ①でん粉原料用いもの適正生産技術等の確立 ②品質管理機器の整備		円	円	
合 計	0	0	0	

注： 事業実施主体が事業協同組合又は協同組合連合会である場合は、組合に加入するでん粉製造事業者のでん粉工場ごとに地区数を1とし、一のでん粉製造事業者が複数の事業を実施する場合は、地区数の計は重複してカウントしないものとする。

第2 事業実施により発現した効果

設定した成果目標の内容	基準年度	年度	目標年度	年度	目 標	
設定した事後評価の検証方法						
事業実施により発現した効果						

注1：「設定した成果目標の内容」及び「設定した事後評価の検証方法」の欄については、別添1－3「事業実施計画書」に準じて記入すること。

注2：「事業実施により発現した効果」欄には、事業実施年度末時点における状況を記入すること。

第3 事業の結果等の詳細

都道府県名 地区名	事業の内容	事業量（回数、面積、台数等）等	備考
	①でん粉原料用いもの適正生産技術等の確立		
	②品質管理機器の整備		

注1：実施した事業に係る欄のみ記入し、実施しない事業に係る欄は削除すること。

注2：事業の内容・事業量には、別添1－3に準じて実績を記入し、必要に応じて補足資料を添付すること。また、上記内容が分かる資料の添付に替えることも可能とする。

注3：①の事業については、当該技術実証試験に係る報告書等を添付すること。

第4 業者選定方法の結果（契約による購入等の業者選定。④品質管理機器の整備の事業を実施した場合は記入。）

契約対象物等名	業者選定方法

注：「業者選定方法」の欄には、一般競争入札、指名競争入札等の選定方法の結果を記載。

第 1 本事業により導入した農業機械等の活用状況

1 受益面積

〇〇生産組合の受益面積の現状（〇年）は、〇〇haだったものの、当該事業により〇年にハーベスタを導入し、目標年度である〇年までの受益面積を〇〇haまで拡大することとしている。

現在、〇年目となる本年の受益面積は〇〇haまで増加した。これは、地区内の高齢化が進み、収穫作業を委託する者が増加したことによるものである。

2 労働時間等

〇〇生産組合の労働時間の現状（〇年）は、〇〇hrだったものの、当該事業により〇年にハーベスタを導入し、目標年度である〇年までの労働時間を〇〇hrまで削減することとしている。

現在、〇年目となる本年の労働時間は〇〇hrと増加している。これは、本年は台風が襲来し、乱倒伏による収穫作業の難航、また地区内の高齢化が進み、収穫作業を委託する者が増加したことによるものである。今後、他地区でもハーベスタを導入していることから、委託を分散し効率的な労働時間となるよう〇〇町や〇〇協議会を通じて調整を行い、更なる労力の省力化、規模拡大を図れるよう引き続き事業を進めたい。

農業機械等	指標	現状 (〇年)	1 年目 (〇年)	2 年目 (〇年)	3 年目 (〇年)	4 年目 (〇年)	5 年目 (〇年)	6 年目 (〇年)	7 年目 (〇年)
ハーベスタ	受益面積 (〇〇ha)								
	労働時間等 (〇〇hr等)								

(注) 1 導入した農業機械等が複数ある場合は、欄を適宜追加して記載すること。
2 各指標の根拠資料も添付すること。
3 リース契約が継続していることが分かる資料（リース会社からのリース料請求書の写し、リース料が引き落とされた通帳の写し）を添付すること。

別添 3－5

第 1 事業実施により発現した効果

設定した成果目標の内容	成果目標の達成状況の検証方法	事業実施による効果	取組時期

(注) 「設定した成果目標の内容」の欄については、別添 1－6 で設定した成果目標について簡潔に記入すること。

第 2 事業状況の詳細

1 検討会の開催

(1) 検討会の構成

検 討 会 名	氏 名	所 属 ・ 役 職 名	備 考

(注) 「所属・役職名」及び「氏名」の欄については、会員ごとに記入すること。

(2) 検討会の概要

開 催 時 期	開 催 場 所	参 集 範 囲	検 討 内 容 及 び 結 果	備 考
年 月				

(注) 1：開催した検討会ごとに記入すること。なお、調査結果の取りまとめ、分析に関する会議についても記入すること。

2：記入した検討会や会議における配布資料を添付すること。

2 課題解決に向けた取組

実 施 時 期	実証名	実 証 内 容 及 び 結 果	備 考
年 月			

(注) 「実証内容及び結果」の欄には具体的な実証内容を記入し、必要に応じて補足資料を添付すること。なお、当該内容が分かる資料の添付に替えることも可能とする。

3 実証結果の普及

実 施 時 期	普及対象者及び人数	普及内容及び結果	備 考

(注) 「普及手法及び内容」の欄については、会議等における発表・報告やマニュアルの作成・配布など、地域等で実証成果の普及啓発を行った内容とその結果について、具体的に記述すること。

別添4（Ⅰの第3の2（1）、Ⅱの第3の2（1）、Ⅲ－Ⅰ、Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ、Ⅲ－Ⅱ－Ⅱ、Ⅲ－Ⅲの第3の2関係）

番 号
年 月 日

〇〇農政局長 殿
〔 北海道にあつては、北海道農政事務所長
沖縄県にあつては、内閣府沖縄総合事務局長
農林水産省農産局長^{※1} 殿

事業実施主体名
所 在 地
代 表 者 氏 名

持続的生産強化対策事業のうち茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進（〇〇
〇〇〇^{※2}）事業評価報告^{※3}（令和 年度）

持続的生産強化対策事業実施要領（令和4年4月1日付け3農産第3175号農林水産省
農産局長通知）第7の規定により別添^{※4}のとおり報告する。

- ※1：本別紙本体の第2の1（1）の事業については、農林水産省農産局長宛とする。
- ※2：本別紙本体の第2の1の事業名を記入。
- ※3：本別紙本体の第2の1（1）の事業については、成果報告とする。
- ※4：別添資料について、本別紙本体の第2の1（1）の事業の場合は別添4－1を、本別紙本体の第2の1（2）の事業の場合は別添4－2を、本別紙本体の第2の1（3）の事業の場合は別添4－3を添付する。
- ※5：本別紙本体の第2の1（2）の事業のうち、Ⅱの第1の1（1）イ（ク）の取組を実施した場合は、別添20を添付し、Ⅱの第1の1（1）イ（ケ）の取組を実施した場合は、別添41を添付する。